

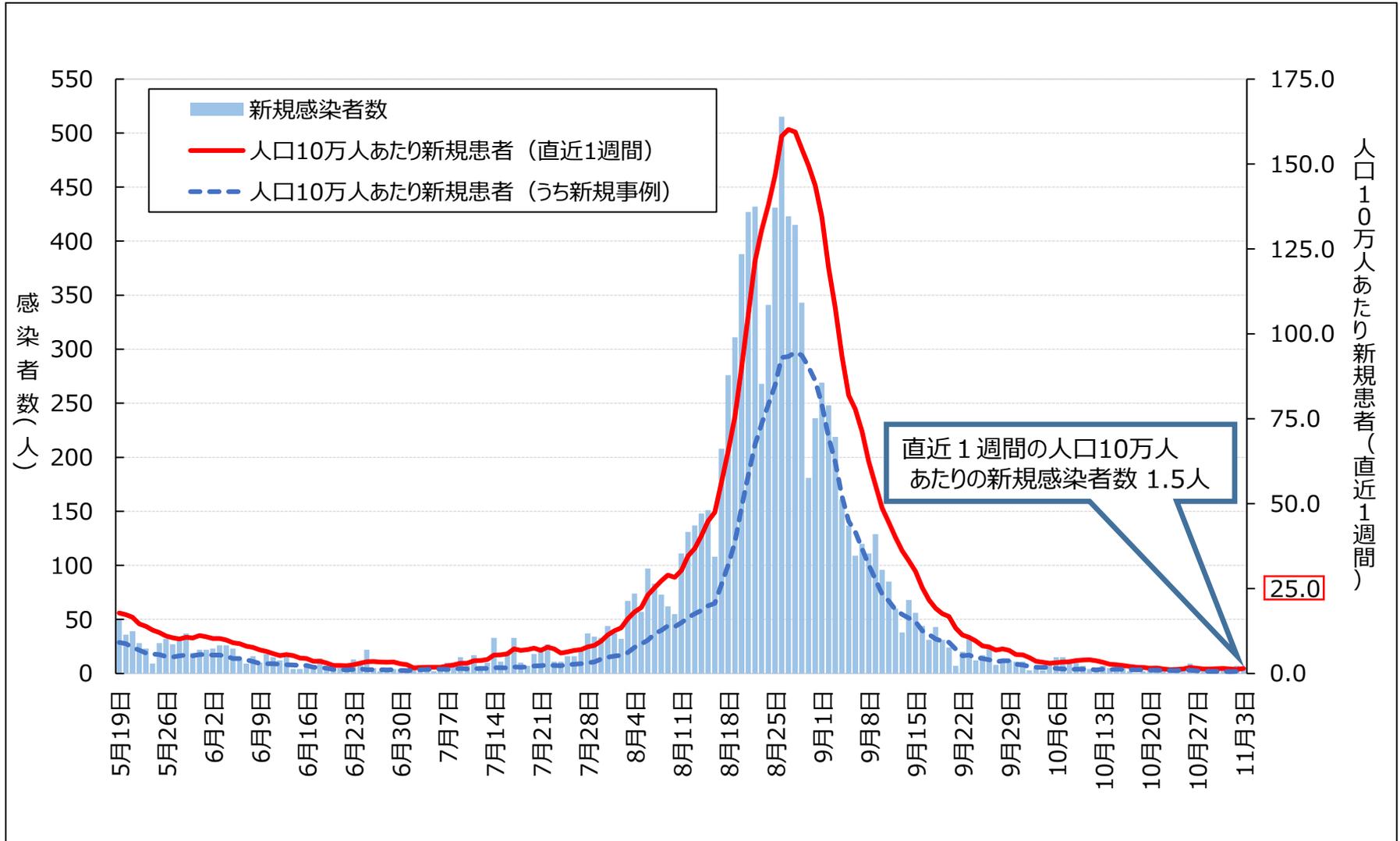
# 新型コロナウイルス感染症 県内発生状況等について

三重県医療保健部  
情報分析・検査プロジェクトチーム

# 県内患者発生状況 1

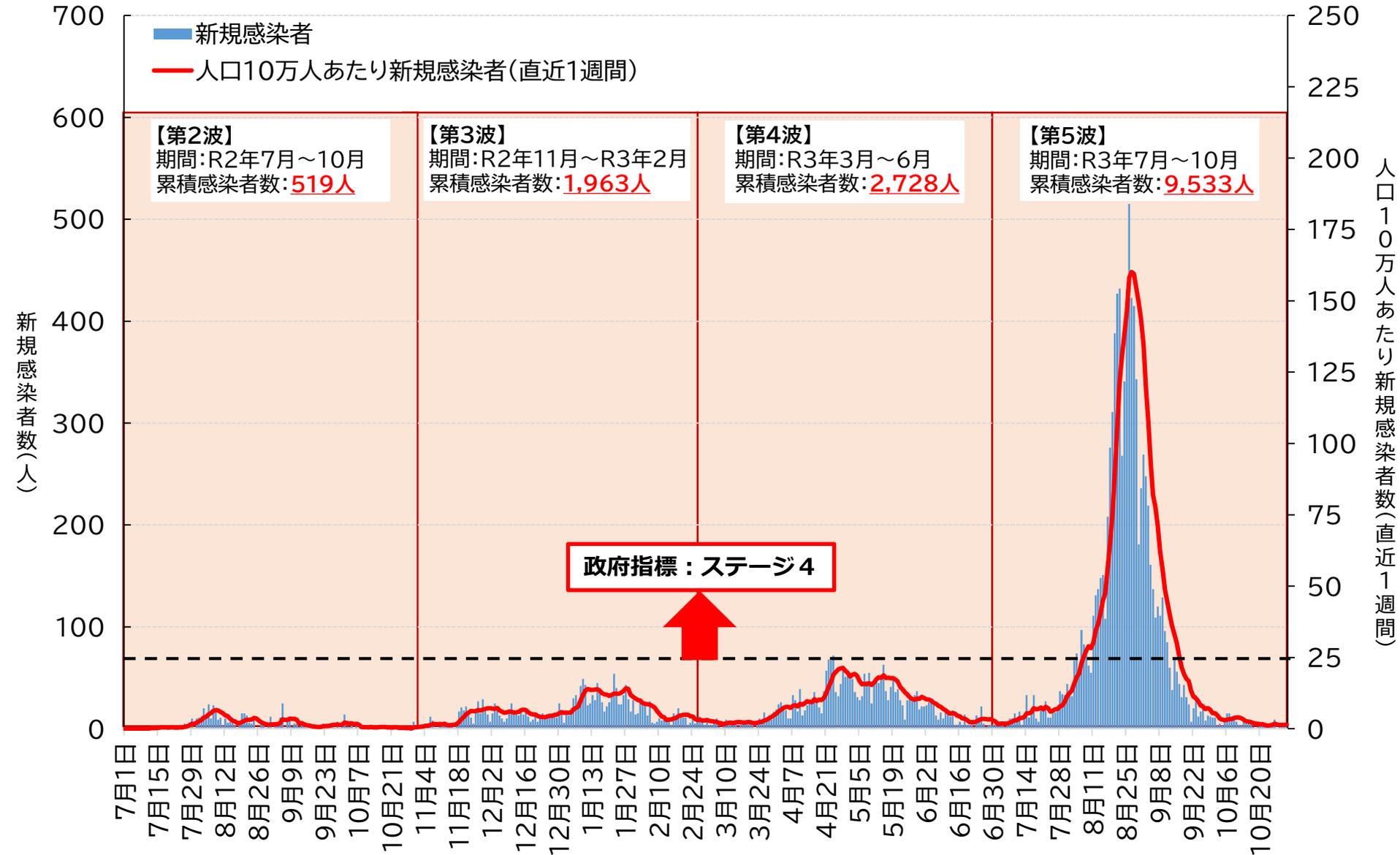
(n=14,801、R3.11.3時点)

◆直近1週間の人口10万人あたりの新規感染者**1.5人**で、**減少傾向**



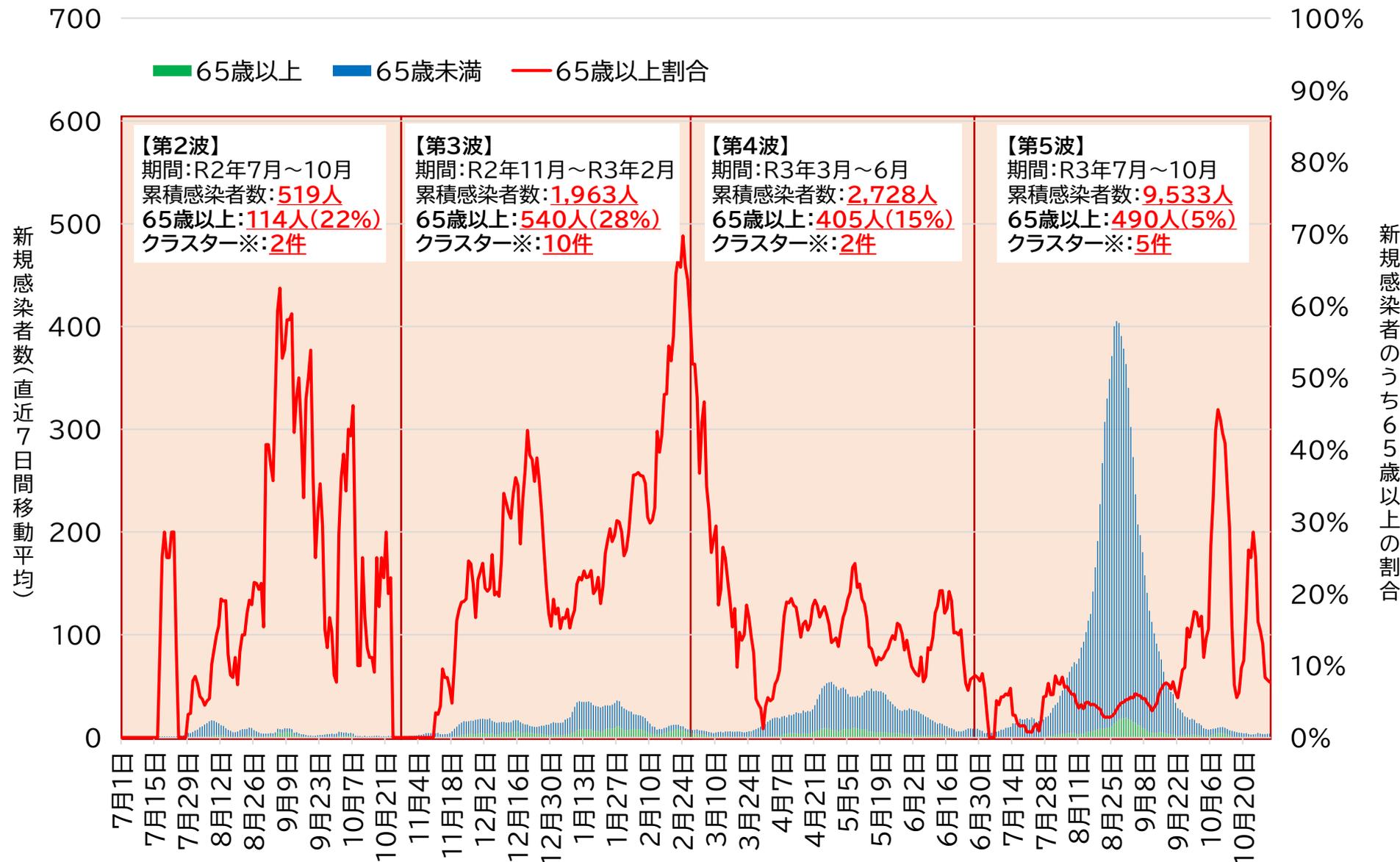
# 県内患者発生状況 2

集計期間：R2.7.1～R3.10.31



# 県内患者発生状況 3

集計期間：R2.7.1～R3.10.31



※高齢者施設系のクラスター

# 第4波との比較（重症者、死亡者）

集計期間：R3.3.1～R3.10.22

◆第4波と比べ、累計感染者数は約6,700人増加

◆第4波と比べ感染者数は3.5倍に増加しているが、重症者、死亡者数の割合は減少

第4波 (3/1~6/30)	年代	感染者数	重症者数		死亡者数	
	20歳未満	391	0	0.0%	0	0.0%
	20代	612	2	0.3%	0	0.0%
	30代	367	3	0.8%	0	0.0%
	40代	430	7	1.6%	1	0.2%
	50代	391	7	1.8%	2	0.5%
	60代	237	16	6.8%	1	0.4%
	70代以上	300	25	8.3%	43	14.3%
	感染者数		2,728	60	2.2%	47

第5波 (7/1~10/22)	年代	感染者数	重症者数		死亡者数	
	20歳未満	2,059	1	0.0%	0	0.0%
	20代	2,324	3	0.1%	1	0.0%
	30代	1,596	1	0.1%	1	0.1%
	40代	1,590	24	1.5%	6	0.4%
	50代	1,172	27	2.3%	8	0.7%
	60代	393	18	4.6%	10	2.5%
	70代以上	366	9	2.5%	23	6.3%
	感染者数		9,500	83	0.9%	49

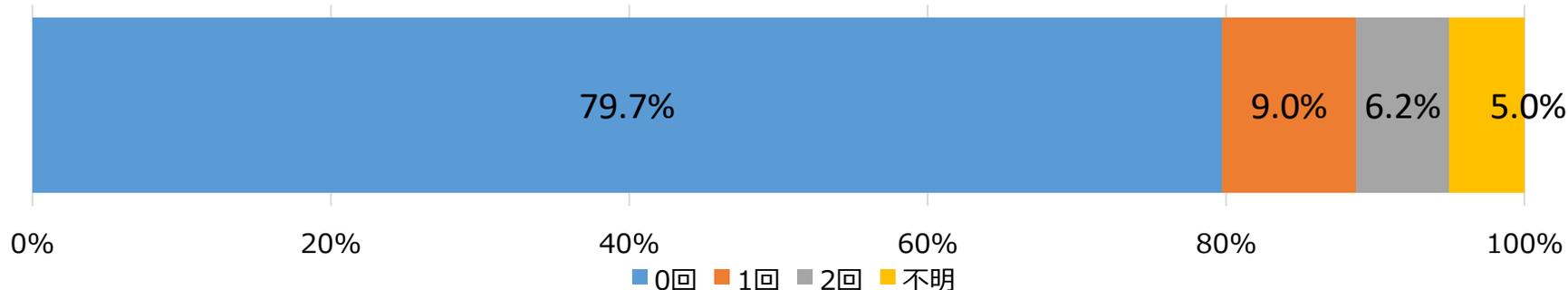
※年齢不明（第5波：1人）は除く

# 新型コロナウイルスワクチンについて

集計期間：R3.8.1～R3.10.27

- ◆ 感染者全体(接種歴不明含む)の**79.8%**は**ワクチン接種歴のない方**
- ◆ ワクチン**2回接種後**に感染した事例は、全体の**6.2%**(562名)
- ◆ ワクチン**2回接種者**は未接種者に比べて、**重症化率・死亡率ともに低い**

## ◇感染者に占めるワクチン接種歴の状況



## ◇年代別ワクチン接種者の重症化等の状況

### (65歳未満)

65歳未満	感染者数	重症者数		死亡者数	
		数	割合	数	割合
0回	7,024	50	0.7%	15	0.2%
1回	787	8	1.0%	3	0.4%
2回	314	0	0%	0	0%
不明	416	5	1.2%	2	0.5%
合計	8,541	63	0.7%	20	0.2%

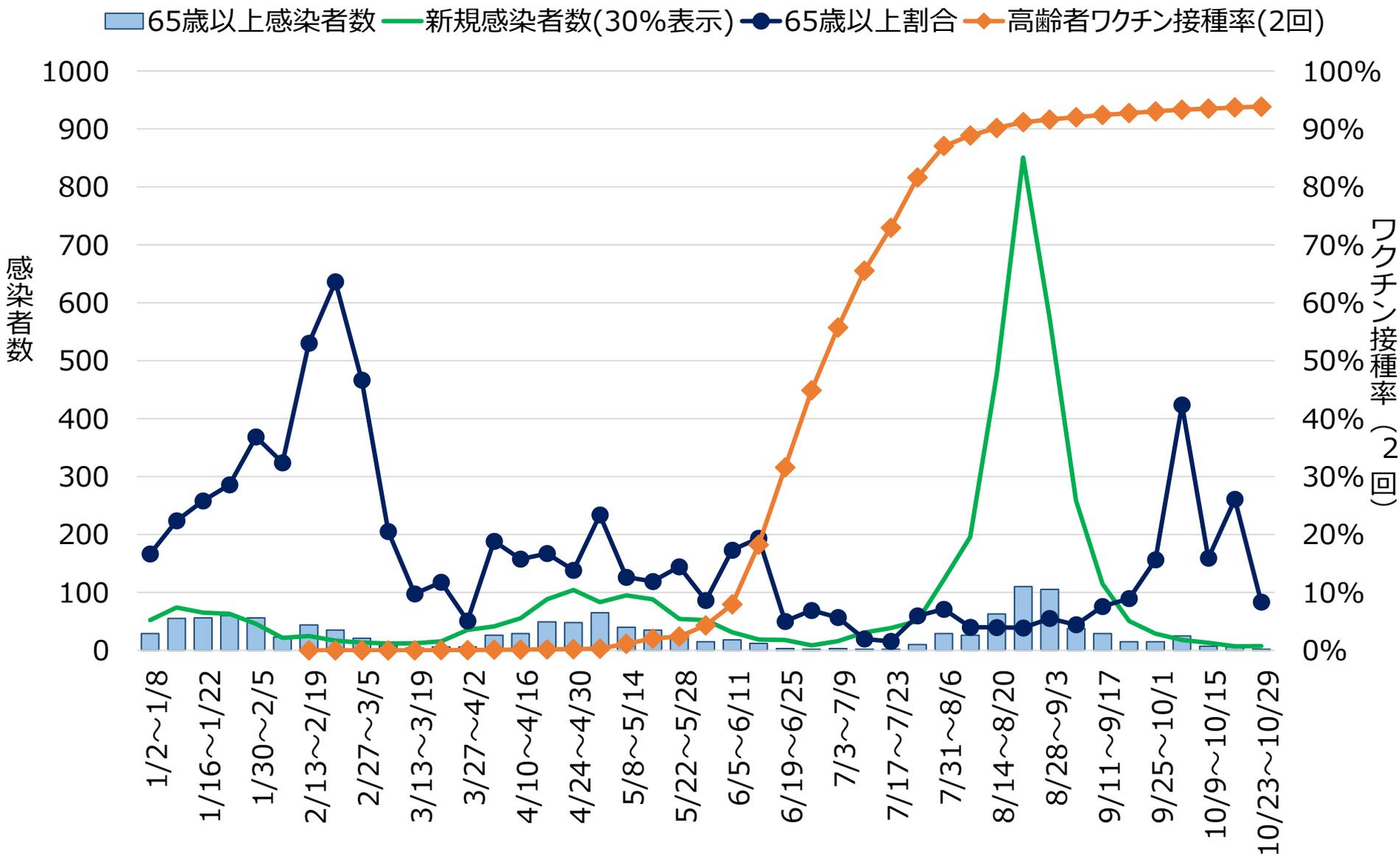
### (65歳以上)

65歳以上	感染者数	重症者数		死亡者数	
		数	割合	数	割合
0回	161	9	5.6%	17	10.6%
1回	24	1	4.2%	1	4.2%
2回	248	1	0.4%	4	1.6%
不明	39	1	2.6%	6	15.4%
合計	472	12	2.5%	28	5.9%

※ワクチン2回接種後の重症者(1名)・死亡者(4名)は基礎疾患あり

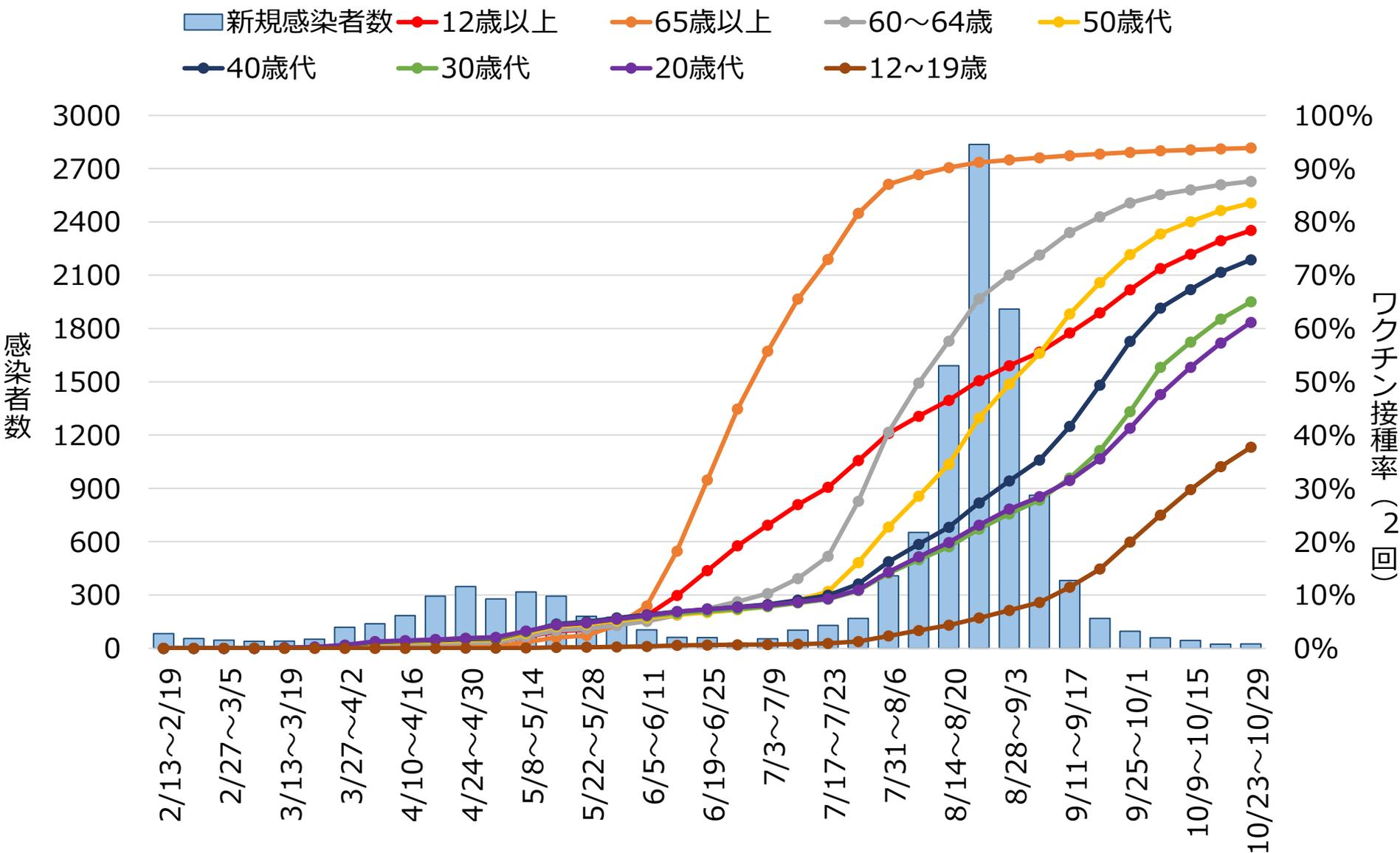
# 新規感染者等とワクチン接種率①

集計期間：R3.1.2～10.29



# 新規感染者等とワクチン接種率②

集計期間：R3.2.13～10.29



## ① 日本で接種が進められている新型コロナワクチンにはどのような効果（発症予防、持続期間）がありますか。

- ② 日本で接種が行われている新型コロナワクチンは、いずれも、新型コロナウイルス感染症の発症を予防する高い効果があり、また、重症化を予防する効果が期待されています。効果の持続期間や、感染を予防する効果についても、時間の経過や接種者数の増加に伴い、研究が進んでいます。

日本では現在、ファイザー社、武田／モデルナ社、及びアストラゼネカ社(※)のワクチンが薬事承認されており、予防接種法における接種の対象となっています。

(※)アストラゼネカ社のワクチンは原則40歳以上の方(ただし、他の新型コロナワクチンに含まれる成分に対してアレルギーがあり接種できない等、特に必要がある場合は18歳以上の方)を対象としています。

いずれのワクチンも、薬事承認前に、海外で発症予防効果を確認するための臨床試験が実施されており、ファイザー社のワクチンでは約95%、武田／モデルナ社のワクチンでは約94%の発症予防効果が確認されています。また、アストラゼネカ社のワクチンは、海外で実施された複数の臨床試験の併合解析の結果から、約70%等の発症予防効果が確認されています。

重症化予防効果については、薬事承認前に行われた臨床試験では症例数が十分ではなく解釈に注意が必要ですが、実施された臨床試験や、承認後に実際に接種された人の情報を集めた研究等から、これらのワクチンの重症化予防効果を示唆する結果が報告されており、効果が期待されています。

感染を予防する効果については、いずれのワクチンも承認前の臨床試験では確認されていませんが、現在、多くの国又は地域でこれらのワクチンの接種が進められることでデータが蓄積されつつあります。一部の国で実施された研究では、mRNA(メッセンジャーRNA)ワクチンを接種した人の方が、接種していない人よりも感染者(有症者・無症候性感染者のいずれも)の発生が少ないことを示唆する結果が報告されています。 なお、これらのデータは臨床試験と異なり、同じ条件の対照群を置くことが困難なこと等から、結果に偏り(バイアス)が生じやすいことに注意して解釈し、今後の様々な研究結果を見ていく必要があります。また、ワクチンの発症予防効果は100%ではないことを踏まえると、接種後も引き続き、感染対策を継続することが重要です。

効果の持続期間については、例えばファイザー社のワクチンの場合、海外で実施された臨床試験後の追跡調査の結果によると、2回目接種後6ヶ月の発症予防効果は91.3%であったという報告もあります。また、武田/モデルナ社のワクチンの場合、同様の調査において、2回目接種後6ヶ月の発症予防効果は90%以上と発表されています。今後も引き続き、集積される様々なデータを見ていく必要があります。

# 高齢者施設関係クラスター発生状況

集計期間：R2.8.1～10.31

- ・第4波ではクラスター発生件数は減少したものの、**第5波において再び増加**
- ・第5波では**ワクチン接種が進んでいる施設においてクラスターが発生**

発生時期	発生件数	施設種別		感染者数	うち職員	うち利用者
第2波 R2.8-10	2件	特別養護老人ホーム	入所系	20	1	19
		介護事業所	通所系	16	5	11
第3波 R2.11-R3.2	10件	老人福祉施設	入所系	8	4	4
		老人福祉施設	入所系	8	4	4
		介護老人保健施設	入所系	18	5	13
		介護事業所	通所系	5	4	1
		老人福祉施設	入所系	7	-	7
		介護施設	入所系	17	8	9
		介護施設	通所系	7	-	7
		特別養護老人ホーム	入所系	35	3	32
		介護老人保健施設	入所系	34	7	27
第4波 R3.3-6	2件	通所介護施設	通所系	10	4	6
		特別養護老人ホーム	入所系	37	10	27
第5波 R3.7-10	5件	介護福祉施設	通所系	8	1	7
		グループホーム	入所系	24	4	20
		特別養護老人ホーム	入所系	16	3	13
		介護老人保健施設	入所系	5	2	3
		通所型老人福祉施設	通所系	31	5	26

# クラスター発生施設概要 1

- ・陽性者におけるワクチン2回接種率は、利用者70%、職員53%
- ・利用者に比べ職員の方が未接種の割合が高い
- ・ワクチン2回接種済の方で死亡者は1名、重症者はなし

## ◆ 第5波クラスター発生施設における陽性者のワクチン接種歴

	陽性者数	年齢中央値 [四分位範囲]	ワクチン接種歴			
			0回	1回	2回	不明
利用者	68名※	86 [81-92歳]	10名 (15%)	6名 (9%)	48名 (70%)	4名 (6%)
職員	15名	50 [35-59.5歳]	6名 (40%)	1名 (7%)	8名 (53%)	

※複数のクラスターに関連する利用者は重複せずに集計

## ◆ 重症者・死亡者まとめ

	人数	年齢	ワクチン接種歴			
			0回	1回	2回	不明
重症者	0名	-	-	-	-	-
死亡者	3名	80~90歳代	2名	-	1名	-

# クラスター発生施設概要 2

- ・クラスター発生施設全体のワクチン接種歴は80%を超えている
- ・ワクチン2回接種済みの方で陽性となる割合は利用者の方が高い

※施設全体のワクチン接種歴が確認できた2施設における評価である

## ◆ 第5波クラスター発生施設におけるワクチン接種歴と検査陽性率

施設A	ワクチン接種		陽性	陰性
利用者	接種(2回)	78%	<u>64%</u>	36%
	未接種(0回)	22%	57%	43%
職員	接種(2回)	93%	<u>16%</u>	84%
	未接種(0回)	7%	0%	100%

施設B	ワクチン接種		陽性	陰性
利用者	接種(2回)	95%	<u>68%</u>	32%
	未接種(0回)	5%	0%	100%
職員	接種(2回)	94%	<u>20%</u>	80%
	未接種(0回)	6%	0%	100%

# クラスター発生施設における共通点

## ◆ 共通点

- ✓ ワクチン接種後における感染は、利用者の方が職員と比較して多く確認されている。
- ✓ 感染が確認された利用者は、認知症等の病状のため、マスクの着用や手指衛生等の感染予防の実施が困難な方が多い。
- ✓ 利用者等で陽性判明後、感染対策は速やかに取られているが、対策内容が適切でないことが多い。

## ◆ 感染リスクの高い方

1. 介護度の高い方
2. 個人での感染予防策の実施が難しい方
3. 1. 2に該当する利用者の介護を行う職員

## ◆ お願いしたいこと

- ワクチン接種完了後も感染予防策の継続
- 患者発生に備えた準備(防護服の着脱、物品の購入等)

# 参考:感染対策事例1

## パーティション替わりの ビニールカーテン

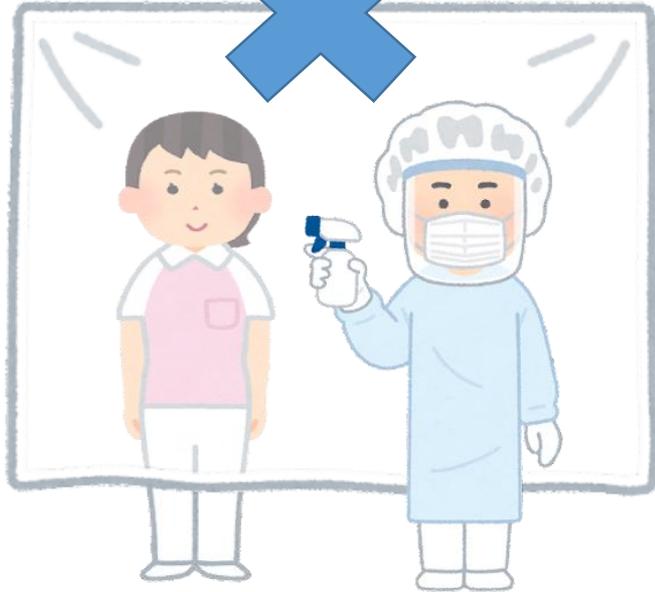


- ビニールカーテンを間仕切りやゾーニングに使用

汚染されやすく  
消毒しにくい



- パーティションや机など、消毒しやすく、動きにくい仕切りを使用



# 参考:感染対策事例2

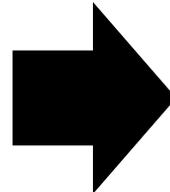
## 新たな陽性者の発生等に伴う ゾーニングの変更



- ゾーニング変更時の職員への周知が不十分



- ゾーニングを変更したら、速やかにすべての従業員に周知
- 周知の際はゾーニングをカラーで示した図面の掲示が望ましい



施設内で情報共有の場を設けるのも効果的です

# 参考:感染対策事例3

## 消毒液



- ウイルスに対して適用がない消毒液を使用
- 国の示す基準より低い濃度の消毒液を使用
- 消毒液の設置場所が少ない



- 国がウイルスに適用があると示している種類の消毒液を使用
- 消毒液の濃度は低すぎず高すぎない適切な濃度
- 消毒液は必要な場所に設置

新型コロナウイルス感染症対策

消費庁 経済産業省 厚生労働省

消毒や除菌効果をうたう商品は、**目的に合ったものを、正しく**選びましょう。

> チェックポイント  
☑使用方法 ☑有効成分 ☑濃度 ☑使用期限  
※ 商品の購入の際には、必ずこの4点をチェックするようにしましょう。

① 手指のウイルス対策  
こまめな手洗いを心がけましょう。  
石けんやハンドソープを使った丁寧な手洗いを行うことで、十分にウイルスを除去できます。さらに消毒剤等を使用する必要はありません。

② 物品のウイルス対策  
テーブル、ドアノブなどの身近な物の消毒には、塩素系漂白剤や、一部の家庭用洗剤等が有効です。  
塩素系漂白剤等の詳しい情報はこちらから！  
家庭用洗剤等の詳しい情報はこちらから！

③ 空間のウイルス対策  
定期的に換気してください。  
注) まわりに人がいる中で、消毒や除菌効果をうたう商品を空間噴霧することは、おすすめしていません。



手指など人体に用いる場合は、品質・有効性・人体への安全性が確認された「医薬品・医薬部外品」を使用してください。

# 参考:感染対策事例4

## 感染性廃棄物の取扱い



- 感染性廃棄物を処理する際に適切な感染防止防具を着用しない
- 空気抜きを実施、ゴミ箱いっぱいに感染性廃棄物を詰め込む



- フェイスシールド、手袋、マスク、ガウン等の適切な感染防止防具を着用
- 感染性廃棄物はゴミ箱に押し込まずに廃棄

自身が汚染される  
おそれがあります



2重包装のうえ  
持ち手を消毒

# 参考:感染対策事例5

## 環境清掃



- 消毒液をスプレーして空間消毒
- 床や壁などを環境清掃



- 環境清掃では環境クロスを用いて清拭消毒
- ドアノブや手すりなどの頻繁に人が触れる箇所を中心とした清掃



十分な量を使って消毒してください

# 参考:感染対策事例6

## 更衣室、洗面所での行動



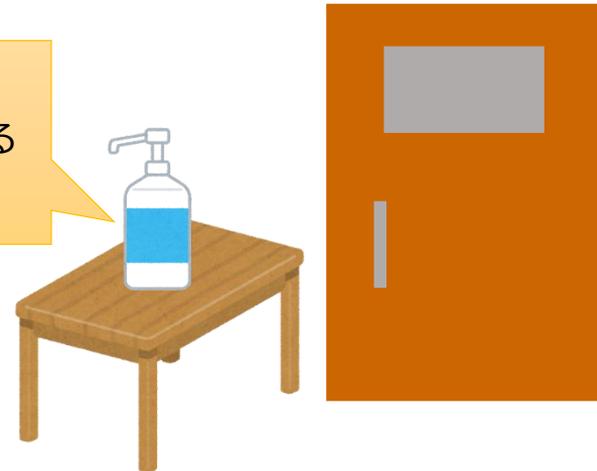
- 換気の悪い更衣室で、マスクを外して会話
- 複数名が同時に洗面所で歯磨き
- 化粧直し、セットアップのためにマスクを外して会話



- 使用時間をできる限りずらし、接触機会を減らす
- 消毒液の設置や換気の励行
- 会話をしないように注意喚起



出入口の前に  
消毒液を設置する  
のも効果的



# 参考:感染対策事例7

## 従業員の健康管理



- 体調不良でも、職員の自己判断で出勤させる
- 体調管理は勤務中のみで休日や勤務前については管理しない



- 体調不良の職員は出勤させない
- 管理者による休日や就業後を含めた健康管理の徹底

健康管理表を付けてる場合の項目は何ですか。

可能な場合、抗原検査キットの活用も検討しましょう。

健康管理はどのようにしていますか。



従業員が急に休んだ時に対応できますか。

# 参考:感染対策事例8

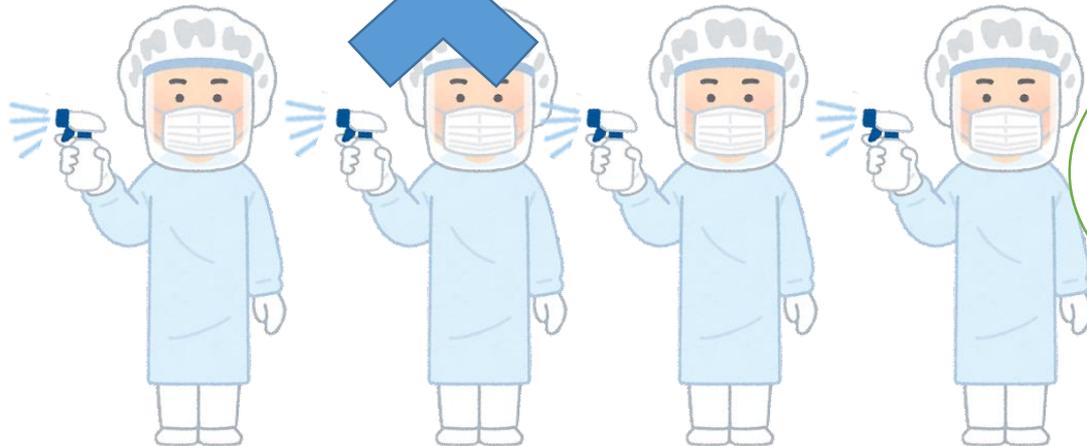
## 防護具



- 陽性者、濃厚接触者に接した後のガウンを使いまわす
- 使いまわすために、PPEを消毒薬で消毒する
- おむつ交換を布製のエプロンやガウンで行う



- 一度着用したPPE(ガウン含む)は使いまわさない
- おむつ交換には撥水性のあるディスプレイザブルエプロンを使用する



フェイスシールドは使い回してもいいですか。

